

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	当院における大腸癌同時性肝転移に対する肝切除例の手術成績の検討
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	外科学講座(消化器外科) 教授(特任) 小松俊一郎
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>〔利用目的〕 大腸癌、肝転移に対する肝切除術後の抗癌剤治療を投与することの有用性を調査することを目的とします。</p> <p>〔対象となる患者さん〕 2016年1月から2025年12月までの間に当院で、大腸癌、同時性肝転移診断に対し、大腸癌手術と肝切除術を両方行った患者さん。</p> <p>〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2026年3月31日</p> <p>〔利用方法〕 診療情報を電子カルテから取得し、データを記録します。 研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧希望の方は下記問い合わせ先まで申し出て下さい。</p> <p>〔他の機関へ提供される場合はその方法〕 なし</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	情報：肝切除術期の抗癌剤治療の有無、期間、内容、再発の有無、部位、無再発生存期間、全生存期間、等
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	【非該当】
提供する試料・情報の取得の方法	【非該当】
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	【非該当】

利用する者の範囲	【非該当】
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究の資料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年2月28日までに下記問い合わせ先まで申し出て下さい。
問い合わせ先	愛知医科大学 外科学講座（消化器外科） 担当者：(職名)助教 (氏名)松村卓樹 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22121)